

『地上の星』とは、この友人の生き様を云うにふさわしい」へのコメント

当 HP の「地上の星とは、この友人の生き様を云うにふさわしい（「雑学 BN」の「メル友・コメント等関係（Ⅱ）」P、2006.02.02.「『地上の星』とは、この友人の生き様を云うにふさわしい」へのコメント：参照）をお読み下さった方々から、菊池（旧姓：丸山）理子様のご冥福をお祈りする次のようなたくさんのメールをいただきました。

理子さんも自分には素敵な友人でしたが、理子さんにお会いしたこともないにも拘わらず、理子さんの生き様を知り、そこから何かを学び、何かを引き継げればと、こうして早速にメールをくださる感性豊かな方々も、自分には素敵な友人です。

2006. 2. 9. 阿部幸泰

菊池理子様のご冥福を謹んでお祈り致します。

① 35年もの前に、グループホームという地域に根ざす活動に頭が下がります。

素晴らしい方の傍には、素晴らしい方が！

② 「地上の星」と呼ばれるような方・・・阿部さんの文章からでも素晴らしい方という事が伝わってきます。是非お会いしてお話を伺ってみたかったですがとても残念です。

私は利用者の方にどれだけ寄り添うことができているか？ときかされると、恥ずかしくなります。私は日常の業務におわれ、すぐに大事な事を忘れそうになってしまいます。

このような言葉にハッと気付かされます。自分の理想や思いに少しでも近付けるようまた努力をしたいと思いました。

③ 苦難の道を拓き、知的障害の方々はじめ多くの障害者の方々に、そして、その人たちが輝けるよう環境を作ってこられたということが伝わってきます。さぞ残念なことでしょうね。

「思想は行動なり」いい言葉ですね。私は足元にも及びませんが、微力ながら励みたいと思います。

先生、くれぐれもお力を落とされませんように。

④ 同じ中島みゆきの「命のリレー」という曲に「命のバトン掴んで願いを引き継いでいけ」という歌詞がありますが、その人の“精神”は、生き様でのみ伝えられ得るのではないかと思います。

そうした生き様に触れた人々が裾野を少しずつ広げていくことが責務でしょうし、僕もそのごく一端を地道に実践していくことをあらためて決意していたところでした。

⑤ 菊池理子さんの生き様に感銘を覚えます。

短い（web）記事ではありますが、菊池さんが困難を切り開きながら障害のある方とともに歩まれる姿が目には浮かんできます。

⑥ 生き様で人に何かを伝える人って、やはり凄いですね。

世の中、自分の生き様はいい加減で適当なのに、あれこれ人（当事者、家族等）に要求、要望する（時に、強制）する、いわゆる似非プロが多いだけに、菊池理子さんの生き様は、新鮮にさえ感じます。

障害者自立支援法について、常に当事者の立場の視点のあった菊池理子さんは、どういった想いでこの法を見てるのかを聞いたかったです。残念です。

⑦ また大変素晴らしい実践家の方がお亡くなりになったのですね。またその思想を継いで、素晴らしい実践をされる方が出で来られることが何よりかと思えます。

⑧ ご友人の生き様素晴らしいですね。

「思想」を実践する勇気と行動力が人生を輝かせる、そう強く感じました。

⑨ 丸山理子さん時代、私はご一緒に石巻のホームをおたずねしたことがあります。

何とすごい方だろうという思いと、あふれる自然体（態）に打たれました。

まだグループホームという発想も、この国にはない時期のことです。

早く召されたのは、天国でもっと重大な仕事があったのでしょうか。

又いつかお会い出来ると思っています。